

第292回柏崎地域早期景気観測調査 報告書

— 令和6年3月期 —

【インデックス】

- 1 全産業(P.2)
- 2 建設業(P.3)
- 3 製造業(P.4)
- 4 卸売業(P.5)
- 5 小売業(P.6)
- 6 サービス業(P.7)

【調査方法】

会員企業1社に対して、毎月下旬に【業況】【売上】【採算】【資金繰り】【仕入単価】【従業員】【資金借入難易感】の7項目について「前年同月比」（※従業員D Iについては本期水準）および「向こう3ヵ月の先行き見通し」の調査を依頼、翌月上旬までに寄せられた回答を集計し、その結果をD I値で表します。

D I値は、実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを含みます。

【DI値とは】

D I値（景況判断指数）とは、「増加・好転」などの回答割合から「減少・悪化」などの回答割合を引いたもので、景況感の方向、強弱を示します。

【業況】…「好転」-「悪化」 【売上】…「増加」-「減少」
【採算】…「好転」-「悪化」 【資金繰り】…「好転」-「悪化」
【仕入単価】…「下落」-「上昇」 【従業員】…「不足」-「過剰」
【資金借入難易感】…「容易」-「困難」

【調査対象業種】

建設業 総合工事業、設備工事業、職別工事業
製造業 鉄鋼・金属製品・機械器具製造業、食料品・印刷・窯業・土石製品製造業
卸売業 建材・鉱物・機械器具卸売業、飲食料品・衣服等卸売業
小売業 飲食料品小売業、衣料・身の回り品・その他小売業
サービス業 宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業

【調査対象数・回答状況】

業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
調査対象数	39	45	27	26	35	172
回答数	23	29	12	12	22	98
回答率(%)	59.0%	64.4%	44.4%	46.2%	62.9%	57.0%

<移動平均分析>

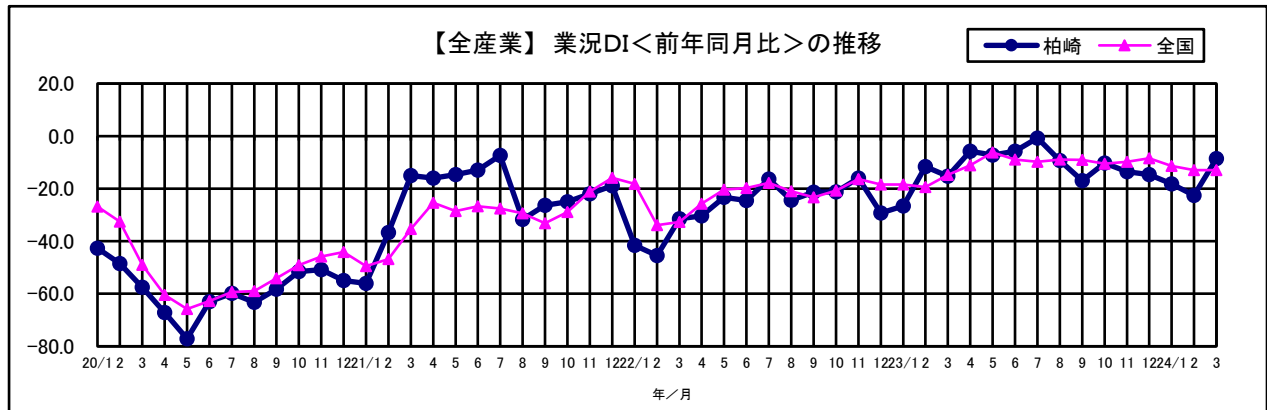
時系列データで見た場合、データの変化が激しく、基本的な変化の傾向がつかみにくいことがあります。移動平均という方法を用いることにより、データ全体の変化の傾向を解析することができます。

ここでは、業況・売上・採算の三項目について、当該月を含めて過去6ヶ月分の平均値を連続的に求め、グラフ化しています。

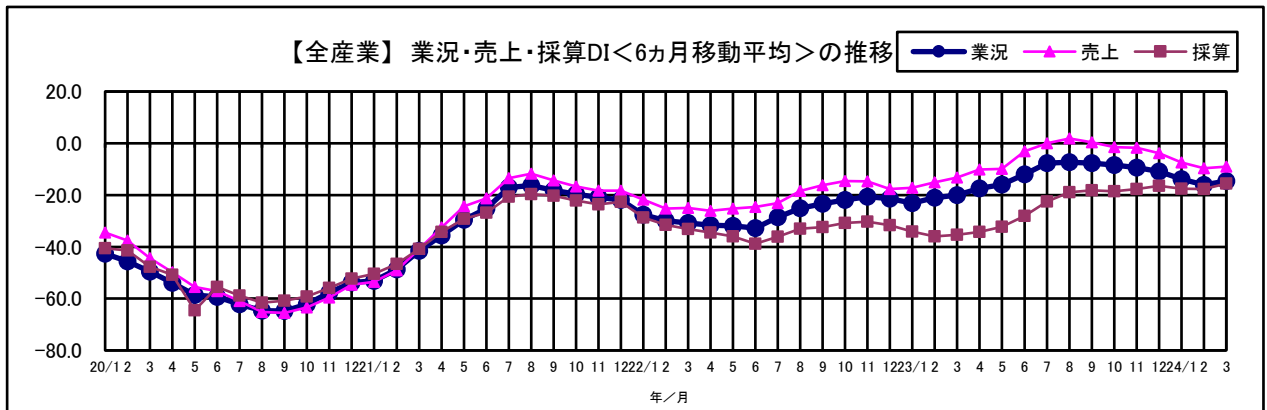


◆概況(全産業合計)

項目		23年10月	23年11月	23年12月	24年1月	24年2月	24年3月	先行き見通し 4月~6月
業況	柏崎	▲10.3	▲13.5	▲14.6	▲18.2	▲22.6	▲8.6	▲17.5
	全国	▲10.5	▲9.7	▲8.4	▲11.4	▲12.9	▲12.9	▲12.2
売上	柏崎	▲7.6	▲11.5	▲2.9	▲15.6	▲10.9	▲5.8	▲24.0
	全国	4.5	4.2	3.3	▲0.1	▲0.9	1.2	▲2.0
採算	柏崎	▲16.4	▲14.8	▲12.5	▲18.6	▲21.5	▲9.7	▲17.7
	全国	▲12.7	▲12.0	▲10.6	▲13.3	▲13.8	▲11.9	▲11.3
資金繰り	柏崎	▲10.4	▲9.1	▲3.7	▲5.0	▲10.3	▲9.9	▲15.5
	全国	▲12.0	▲11.7	▲9.3	▲11.0	▲10.8	▲10.6	▲11.4
仕入単価	柏崎	▲63.8	▲64.7	▲65.2	▲59.9	▲68.1	▲71.5	▲66.0
	全国	▲67.4	▲66.8	▲65.0	▲59.6	▲60.8	▲64.5	▲53.6
従業員	柏崎	17.7	18.7	23.3	15.6	24.1	36.6	32.6
	全国							23.1
資金借入難易感	柏崎	▲3.8	▲5.1	4.1	▲0.1	0.3	1.6	▲0.1



<移動平均分析(全産業)>



【3月期全国全産業の動向】

●全産業合計の業況DIは、▲12.9(前月比±0.0ポイント)

・建設業は、住宅関連を中心に民間工事の不振が続き、悪化した。小売業は、物価高による消費者の買い控えの継続が重荷となり、悪化に転じた。一方、サービス業は、人手不足は継続するものの、国内外の観光需要増の恩恵を受けた飲食・宿泊業が下支えし、ほぼ横ばいとなった。製造業は、飲食品関係の需要増のほか、自動車関係も堅調に推移し、改善となり、卸売業も、製造業にけん引され、改善した。

・日経平均株価の最高値更新等、景気回復の兆しが見える一方、物価の高止まりや円安基調等によるコスト増が継続している。また、人手不足による受注機会の損失やコスト増に見合う価格転嫁もできておらず、業況は足踏みだった。

●先行き見通しDIは、▲12.2(今月比+0.7ポイント)

・新年度の歓送迎会や企業の新たな設備投資需要の増加等による国内需要の拡大、政府の令和6年度事業による経済活性化等、改善への期待感がうかがえる。

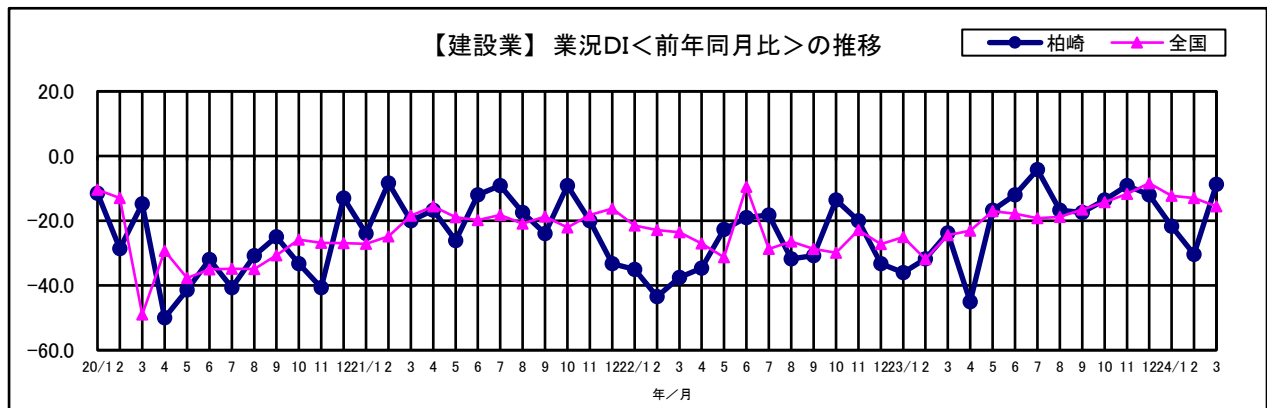
・一方、物流費の高騰や人材確保に向けた賃上げ等、企業負担は増加が継続している。加えて、人材確保や生産性向上、労務費を含む価格転嫁など、対応するべき課題が多く、先行きは力強さを欠いている。

【3月期柏崎全産業の動向】

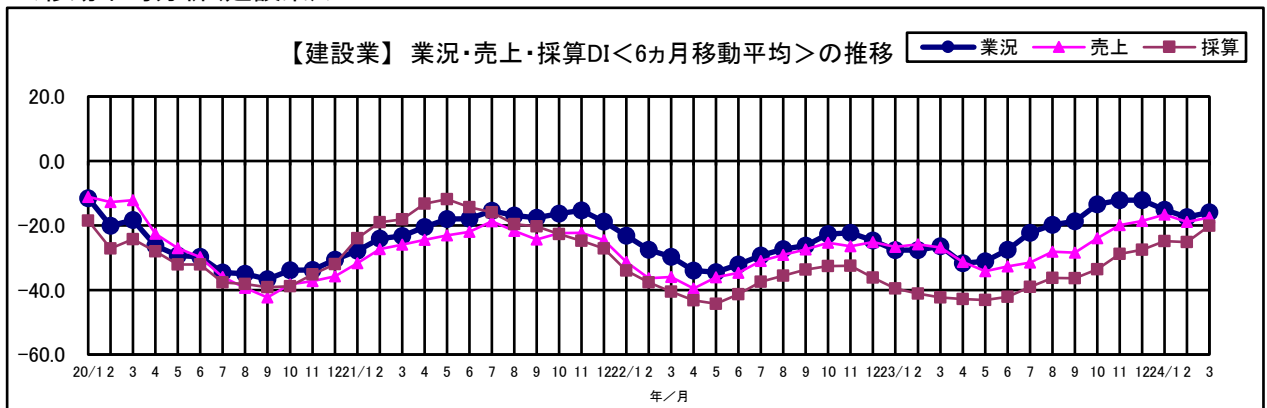
売上DIはマイナス域ながらやや改善。中でもサービス業(観光サービス)では、北陸応援割の効果で宿泊が増えたとの声もあった。合わせて業況、採算DIも改善がみられた。一方で、先行き見通しは各項目悪化傾向にあるものが多く、先行きに対する不安の声も聞かれた。

【建設業】

項目		23年10月	23年11月	23年12月	24年1月	24年2月	24年3月	先行き見通し 4月～6月
業況	柏崎	▲13.6	▲9.1	▲12.0	▲21.7	▲30.4	▲8.7	▲17.4
	全国	▲14.3	▲11.7	▲11.0	▲12.3	▲13.0	▲15.6	▲16.9
売上	柏崎	▲18.2	▲9.1	▲8.0	▲13.0	▲34.8	▲21.7	▲26.1
	全国	▲6.7	▲2.9	▲3.8	▲6.1	▲3.3	▲9.3	▲10.9
採算	柏崎	▲18.2	▲9.1	▲32.0	▲17.4	▲34.8	▲8.7	▲26.1
	全国	▲19.7	▲14.9	▲16.6	▲18.8	▲20.2	▲16.9	▲15.9
資金繰り	柏崎	0.0	▲9.1	▲8.0	0.0	▲8.7	▲8.7	▲17.4
	全国	▲6.4	▲6.1	▲3.8	▲7.1	▲6.5	▲7.9	▲10.3
仕入単価	柏崎	▲40.9	▲59.1	▲56.0	▲65.2	▲60.9	▲60.9	▲60.9
	全国	▲72.9	▲72.8	▲71.2	▲68.0	▲70.0	▲69.5	▲59.9
従業員	柏崎	45.5	36.4	52.0	39.1	47.8	52.2	60.9
	全国							33.8
資金借入難易感	柏崎	4.5	4.5	12.0	0.0	4.3	4.3	4.3



<移動平均分析(建設業)>



【全国建設業の動向】

資材価格が高止まりする中、住宅関係を中心に民間工事の不振が継続しており、悪化。働き方改革関連法の施行が来月に迫る中、人材確保に向け賃上げに取り組むも、技術者等の専門人材の採用に苦慮する声が聞かれた。

<日本商工会議所に寄せられた声>

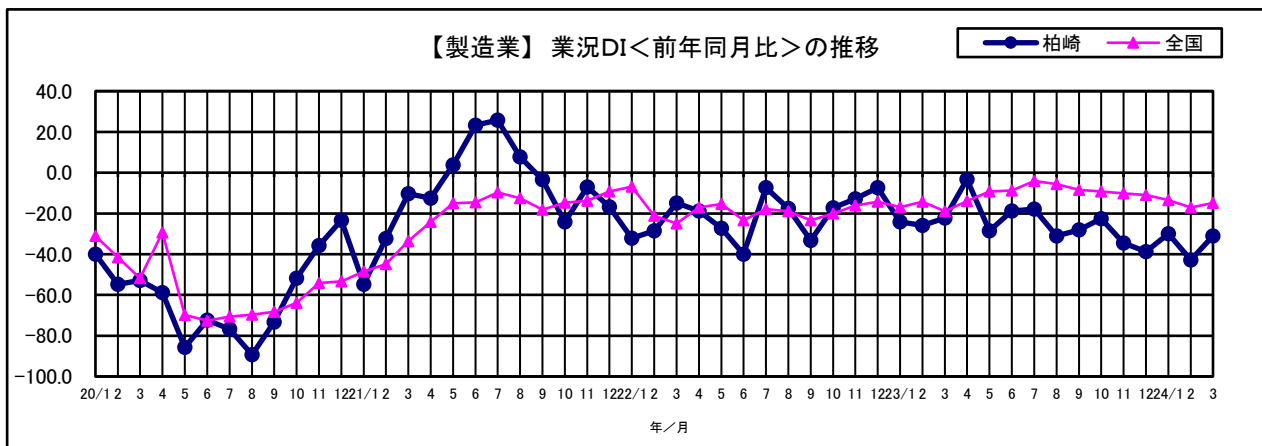
- ・「来月から働き方改革関連法が施行されるが、自社の技術者のみならず、下請けや協力会社でも専門人材が不足している。受注機会の損失につながる可能性があるため、人材確保に向けて賃上げを実施。採用をすることができたが、大手企業との賃金格差により離職されないか、不安が拭えない」(建築工事業)
- ・「資材価格やエネルギー価格の高止まりで負担が多い中、公共工事の入札加点制度に賃上げがあるため、賃上げをせざるを得ない状況である」(一般工事業)

【柏崎建設業の動向】

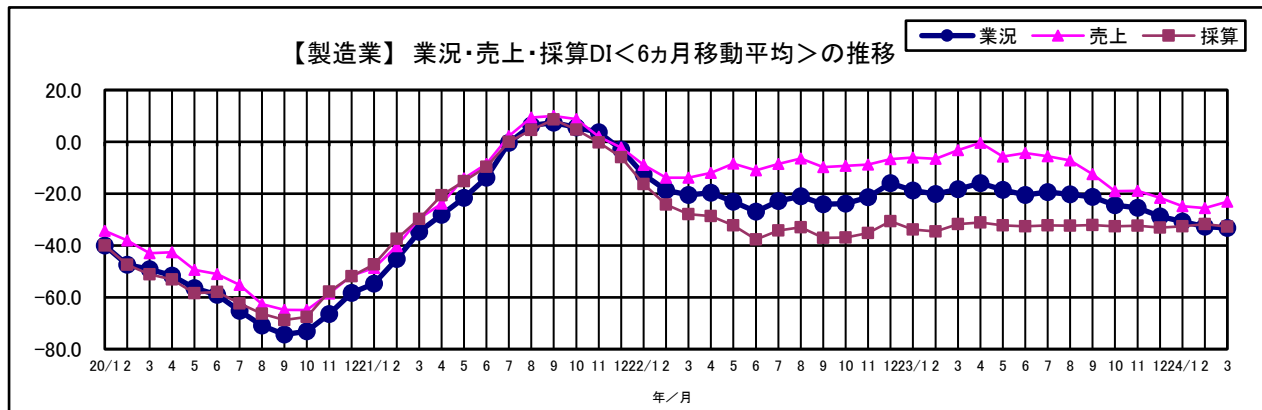
業況DIはマイナス域ながら前月比で大きく改善。「不変」の回答が多数占めるものの「好転」の回答も少数ではあるがみられた。また、売上DIも改善がみられたが、従業員DIは不足寄りの数値となった。

【製造業】

項目		23年10月	23年11月	23年12月	24年1月	24年2月	24年3月	先行き見通し 4月～6月
業況	柏崎	▲ 22.6	▲ 34.5	▲ 38.7	▲ 30.0	▲ 42.9	▲ 31.0	▲ 24.1
	全国	▲ 9.3	▲ 10.2	▲ 8.1	▲ 13.4	▲ 17.0	▲ 14.8	▲ 10.3
売上	柏崎	▲ 22.6	▲ 27.6	▲ 19.4	▲ 26.7	▲ 25.0	▲ 17.2	▲ 24.1
	全国	7.1	5.8	3.4	▲ 1.8	▲ 5.1	▲ 5.5	0.0
採算	柏崎	▲ 22.6	▲ 34.5	▲ 32.3	▲ 36.7	▲ 32.1	▲ 37.9	▲ 27.6
	全国	▲ 9.3	▲ 11.2	▲ 10.3	▲ 13.8	▲ 15.2	▲ 14.4	▲ 10.1
資金繰り	柏崎	▲ 9.7	▲ 10.3	▲ 9.7	▲ 3.3	▲ 21.4	▲ 17.2	▲ 10.3
	全国	▲ 11.8	▲ 13.4	▲ 9.9	▲ 10.0	▲ 14.5	▲ 12.4	▲ 10.8
仕入単価	柏崎	▲ 64.5	▲ 69.0	▲ 71.0	▲ 50.0	▲ 53.6	▲ 62.1	▲ 55.2
	全国	▲ 64.1	▲ 64.5	▲ 59.8	▲ 49.9	▲ 52.3	▲ 56.6	▲ 47.5
従業員	柏崎	0.0	0.0	6.5	3.3	3.6	10.3	3.4
	全国							12.8
資金借入難易感	柏崎	0.0	3.4	6.5	10.0	0.0	6.9	3.4



<移動平均分析(製造業)>



【全国製造業の動向】

人材確保に向けた賃上げや円安による輸入部材の高騰に伴うコスト増は継続しているものの、インバウンド・国内観光需要の恩恵を受ける飲食・宿泊業向けの飲食品関係のほか、堅調に推移する自動車関係がけん引し、改善。

<日本商工会議所に寄せられた声>

- ・「売上は改善しているが、受注から販売までの間に輸入部材等が値上がりしており、価格転嫁が追い付かず、収益を圧迫している」(自動車・付属品製造業)
- ・「売上は安定しているが、コスト増で業況は足踏み状態である。今後も人手不足や物流問題、円安の伸長による仕入価格の高騰など、不安要素は多いが、生産性向上等を図り、利益を確保していきたい。まさに正念場だと感じている」(パン・菓子製造業)

【柏崎製造業の動向】

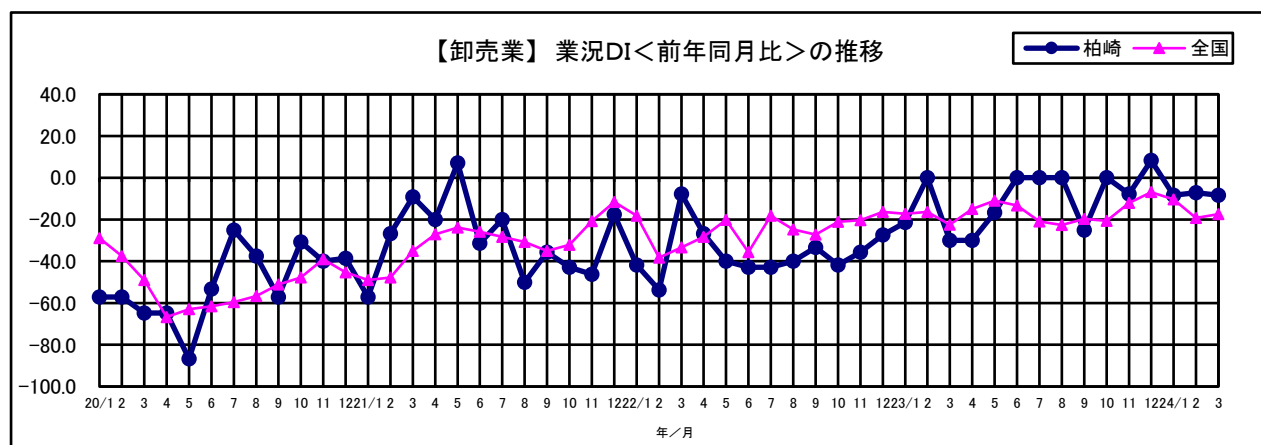
業況DIは前月比+11.9ポイント改善がみられた。しかしながら、取引先関係やコスト問題等を不安視する声も聞かれ、依然として業況DIはじめ、停滞感のみられる回答結果となっている。

<柏崎商工会議所に寄せられた声>

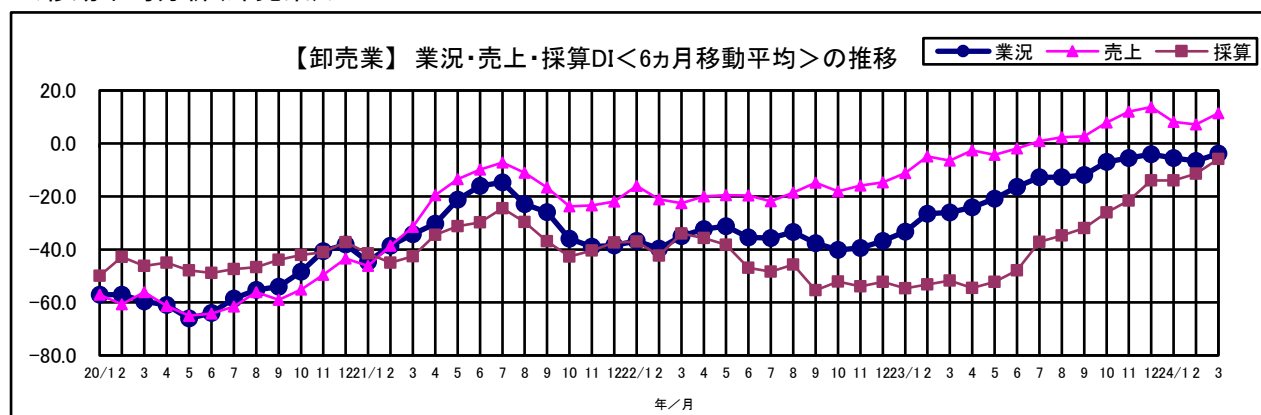
- ・仕入先が閉店するとの連絡があった。
- ・リーマンショック時並みと思われる程の状況になっている気がする。はっきりと見えていない原因に不安感が増している。在庫調整であればいいが年度が変わって動きが出ることを期待、昇給は不可欠だが頭の痛いところである。

【卸売業】

項目		23年10月	23年11月	23年12月	24年1月	24年2月	24年3月	先行き見通し 4月～6月
業況	柏崎	0.0	▲ 7.7	8.3	▲ 8.3	▲ 7.1	▲ 8.3	0.0
	全国	▲ 20.6	▲ 12.0	▲ 6.9	▲ 10.4	▲ 19.2	▲ 17.4	▲ 15.5
売上	柏崎	21.4	7.7	25.0	▲ 16.7	14.3	16.7	▲ 8.3
	全国	▲ 5.9	6.5	5.5	1.4	▲ 4.6	4.7	▲ 2.8
採算	柏崎	▲ 14.3	▲ 23.1	16.7	0.0	▲ 14.3	0.0	▲ 8.3
	全国	▲ 12.6	▲ 13.4	▲ 5.0	▲ 14.5	▲ 15.5	▲ 12.2	▲ 11.3
資金繰り	柏崎	▲ 14.3	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	▲ 16.7
	全国	▲ 7.6	▲ 9.2	▲ 6.4	▲ 7.2	▲ 10.0	▲ 5.6	▲ 8.0
仕入単価	柏崎	▲ 57.1	▲ 61.5	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 71.4	▲ 75.0	▲ 66.7
	全国	▲ 64.7	▲ 63.1	▲ 60.1	▲ 56.1	▲ 59.8	▲ 63.4	▲ 51.6
従業員	柏崎	14.3	30.8	25.0	25.0	21.4	41.7	58.3
	全国							21.6
資金借入難易感	柏崎	▲ 7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	16.7	8.3



<移動平均分析(卸売業)>



【全国卸売業の動向】

輸送費等の高騰に加え、消費者の買い控えにより日用品等の荷動きは低調なもの、自動車関係の製造業からの引き合い増加や、飲食・宿泊業向けの堅調な需要に下支えされ、改善。

<日本商工会議所に寄せられた声>

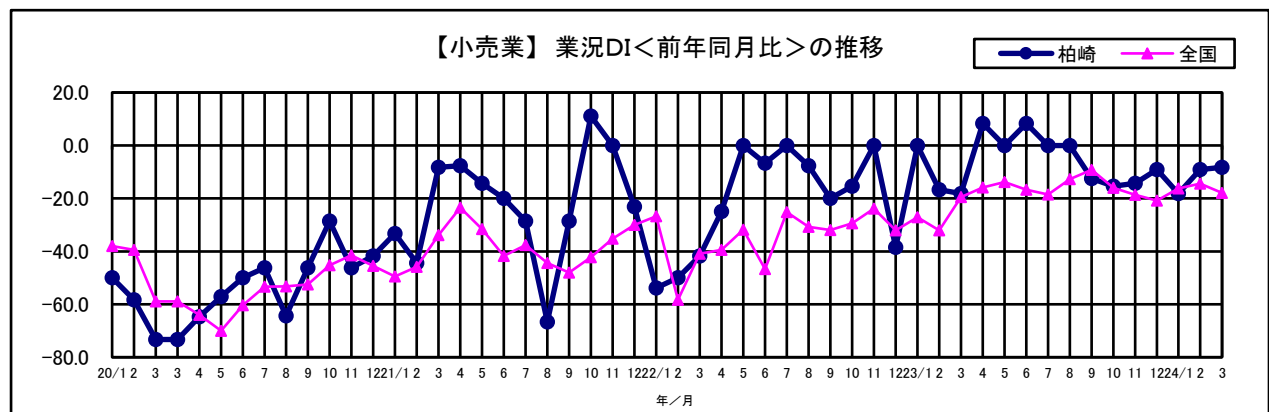
- ・「売上は安定しているが、青果物は鮮度が重要なため、来月からの物流2024年問題が売上や採算にどの程度影響するか不安である」(農畜産水産物卸売業)
- ・「受注数は堅調に推移しており、新年度を見据えてさらなる需要増に期待している。一方、輸送費や包装資材などの高止まりによるコスト増で収益圧迫は継続しているため、利益確保に向けて価格転嫁を進めていく」(一般機械器具卸売業)

【柏崎卸売業の動向】

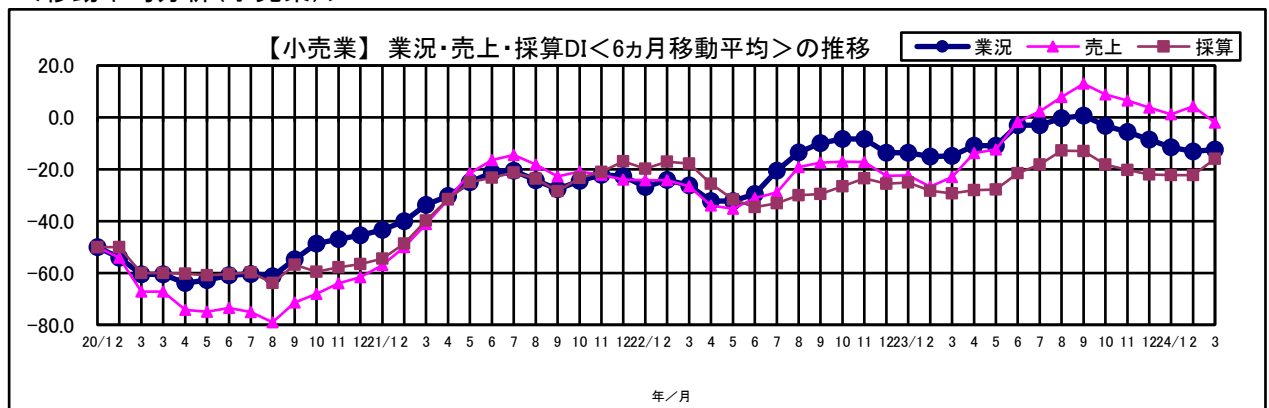
前月期に引続き、売上DIは堅調に推移している。要因として建材・鉱物・機械卸売業で「増加」の回答が多かった。一方で従業員DIは不足寄りの回答結果になり、先行き見通しでも「不足」の回答が目立った。また、売上・採算DIの上向きな推移とは反して、業況DIは前月比-1.2ポイント悪化した。

【小売業】

項目		23年10月	23年11月	23年12月	24年1月	24年2月	24年3月	先行き見通し 4月~6月
業況	柏崎	▲ 15.4	▲ 14.3	▲ 9.1	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 8.3	▲ 16.7
	全国	▲ 16.0	▲ 18.7	▲ 20.8	▲ 16.2	▲ 14.4	▲ 17.9	▲ 19.4
売上	柏崎	0.0	▲ 14.3	9.1	0.0	18.2	▲ 25.0	▲ 25.0
	全国	1.0	▲ 4.2	▲ 6.1	▲ 7.0	▲ 3.1	▲ 1.8	▲ 5.9
採算	柏崎	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	0.0	▲ 16.7
	全国	▲ 14.8	▲ 18.7	▲ 16.1	▲ 14.7	▲ 15.2	▲ 12.5	▲ 14.8
資金繰り	柏崎	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 16.7	▲ 25.0
	全国	▲ 20.7	▲ 17.9	▲ 17.8	▲ 16.9	▲ 13.7	▲ 15.1	▲ 17.3
仕入単価	柏崎	▲ 69.2	▲ 78.6	▲ 63.6	▲ 45.5	▲ 81.8	▲ 75.0	▲ 75.0
	全国	▲ 70.7	▲ 72.2	▲ 71.4	▲ 64.9	▲ 67.0	▲ 73.2	▲ 62.8
従業員	柏崎	23.1	21.4	27.3	27.3	45.5	41.7	25.0
	全国							21.2
資金借入難易感	柏崎	▲ 23.1	▲ 21.4	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 16.7	▲ 16.7



<移動平均分析(小売業)>



【全国小売業の動向】

新生活用品等の特需はあるものの、仕入価格やエネルギー価格の高止まりに加え、人材確保に向けた賃上げ等でコスト増が継続する中、物価高による消費者の買い控えにより専門小売店を中心に、悪化。

<日本商工会議所に寄せられた声>

・「物価高騰の影響で消費者の購買意欲は停滞しており、購入点数は必要最低限に留まる顧客が多い。取扱商品が生活必需品でないものの、多種多様の在庫を用意する必要があり、売上・採算ともに悪く、従業員の雇用も難しい状況である」(がん具・娯楽用品小売業)

・「新年度に向けて学生服等の需要はあったものの、運送費や電気代等の高騰でコストは増加しており、採算は芳しくない」(衣服・日用品小売業)

【柏崎小売業の動向】

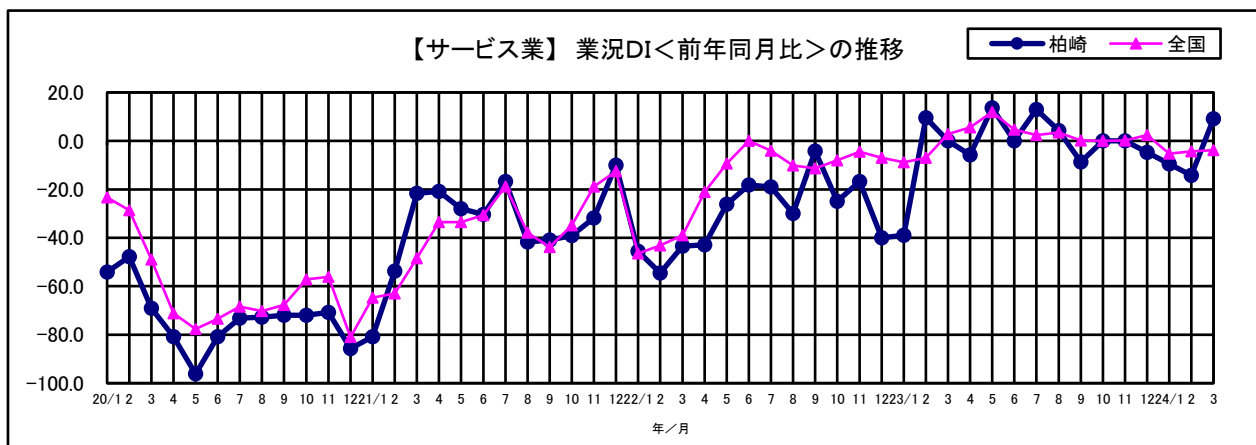
売上DIはプラス域からマイナス域に悪化。特に飲食料品小売は「減少」の回答が多く、物価高騰による買い控えの影響もあるだろうか。従業員DIも不足寄りの数値となり、前月期に引続き、人手不足感が強く、人材確保の課題やそれに伴いコスト増が経営を苦しめているだろうか。

<柏崎商工会議所に寄せられた声>

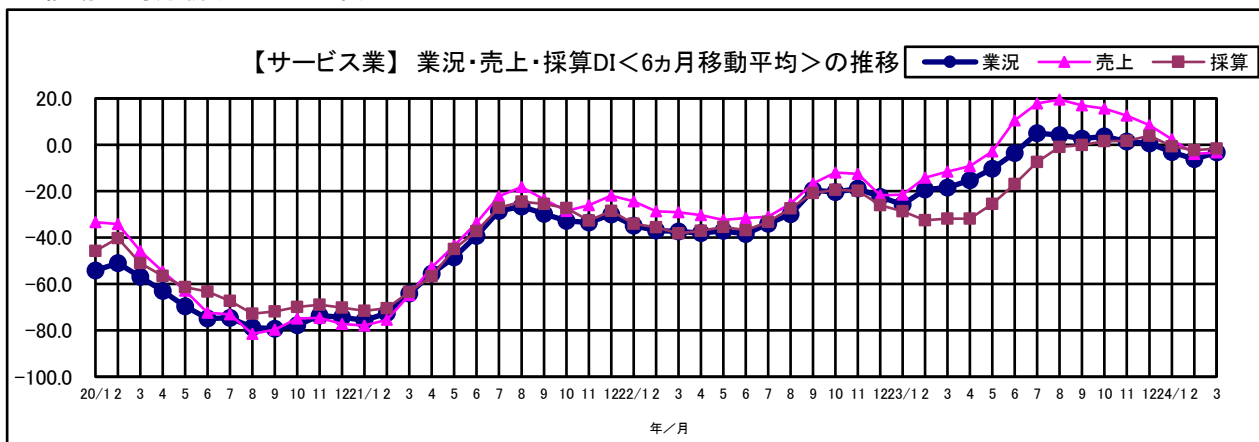
・3月に入り、悪天候の日が増えたため、客足が伸び悩んだ日が多かった。贈り物として様々な商品をまとめ買いする人が多かったのは良かった。

【サービス業】

項目		23年10月	23年11月	23年12月	24年1月	24年2月	24年3月	先行き見通し 4月～6月
業況	柏崎	0.0	0.0	▲ 4.8	▲ 9.5	▲ 14.3	9.1	▲ 18.2
	全国	0.0	0.2	2.4	▲ 5.2	▲ 4.4	▲ 3.8	▲ 4.0
売上	柏崎	▲ 4.3	▲ 4.8	0.0	▲ 14.3	▲ 9.5	13.6	▲ 27.3
	全国	16.8	12.9	14.3	10.3	8.3	14.8	4.8
採算	柏崎	▲ 4.3	9.5	9.5	▲ 14.3	▲ 14.3	4.5	▲ 9.1
	全国	▲ 10.0	▲ 5.1	▲ 4.9	▲ 7.6	▲ 6.4	▲ 6.0	▲ 6.8
資金繰り	柏崎	▲ 4.3	0.0	9.5	▲ 4.8	▲ 9.5	▲ 4.5	▲ 13.6
	全国	▲ 10.8	▲ 9.5	▲ 6.5	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 9.2	▲ 9.6
仕入単価	柏崎	▲ 73.9	▲ 57.1	▲ 71.4	▲ 81.0	▲ 76.2	▲ 81.8	▲ 72.7
	全国	▲ 65.7	▲ 62.6	▲ 63.3	▲ 61.4	▲ 59.3	▲ 62.8	▲ 49.4
従業員	柏崎	17.4	19.0	19.0	4.8	19.0	45.5	36.4
	全国							28.8
資金借入難易感	柏崎	0.0	▲ 9.5	4.8	▲ 4.8	0.0	0.0	0.0



<移動平均分析(サービス業)>



【全国サービス業の動向】

深刻な人手不足により需要増に対応が追いついていない状況は継続しているものの、インバウンド・国内観光需要の増加の恩恵を受ける飲食・宿泊業が下支えし、ほぼ横ばい。

<日本商工会議所に寄せられた声>

- ・「インバウンド需要の増加に伴い、宿泊客は増加傾向にある。一方、今後もインバウンド・国内観光需要が増え続けると新たなホテルの開業が想定され、価格競争に陥らないか危惧している」(宿泊業)
- ・「年度末のため、団体での歓送迎会の予約も着実に増加している。このままの流れを維持していきたい」(飲食店)

【柏崎サービス業の動向】

業況・売上・採算DIとマイナス域から今月はプラス域に改善された。特に観光サービスは北陸応援割の恩恵が「好転」「増加」の割合が多かった。一方でエネルギー価格の高止まり、人手不足の課題は顕著にみられるDI値となっている。

<柏崎商工会議所に寄せられた声>

- ・北陸応援割の恩恵で宿泊が増えて、状況が好転した。
- ・店舗入口に風除室を設置、空調管理、暖房費削減に貢献。
- ・約60坪の土地を透水性アスファルト(雨水の循環、蓄熱性が少なく表面温度の抑制効果あり)にて駐車場を造る。